

『世界遺産』の資料に、新たな情報をプラスしよう

～文章を読んで課題を決め、情報を集めて解決する～

文章を読んで、更に知りたいことを見いだして課題を決めることや、それを適切な方法で調べていくことに課題が見られました。そこで、本アイデアでは、世界遺産に関する資料を読み、調べたい課題について新たに知ったことを「プラス1情報」として書く学習を提案します。よりよい課題の設定の仕方と、適切に情報を収集するための方法を身に付けることを狙いとします。



課題の見られた問題の概要と結果 … B1 説明的な文章を読む (いろはかるた)

学習指導要領における領域・内容

B1三 正答率 58.5%

「かるた」について分かったことを基に、さらに調べたいことと調べる方法を具体的に書く。

〔第1学年〕B 書くこと ア
〔第1学年〕C 読むこと カ

授業アイデア例

学習の流れ

「世界遺産」に関する資料を読んで、更に知りたいことや調べたいこと（課題）を決める。
(第1時)

情報を収集する具体的な方法について意見を交換し、考えた方法で情報を集める。
(第2時、第3時)

集めた情報を「プラス1情報」として短い文章にまとめる。
「プラス1情報」を互いに読み合い、課題の設定と情報の収集の仕方について振り返る。
(第4時)

(言語活動) 「世界遺産」の資料を読み、新たに調べたことを「プラス1情報」として書く。

教材例 ● 「世界遺産」に関する資料

世界遺産に登録される基準は10個

世界遺産に選ばれるためには、10個ある基準のうちのひとつを満たしている、なおかつしっかりと保ごとの管理をしていく体制が整っていることが必要。10個の基準のうち、6つは文化遺産で、4つが自然遺産の基準です。その両方で基準が満たされると、複合遺産になります。文化遺産の基準は、歴史上で重要な建築だったり、貴重な文化の証拠であったり、芸術としての特別な価値があったりすることです。自然遺産のほうは、ほかにない自然現象や美しさがあること、地球の歴史や生命の進化の上で重要な地形や地質、生物が見られること、絶滅危ぐ種をふくむ生物多様性が保たれた野生の自然があることなどが基準になっています。どの基準もとてもきびしく審査された上で、いろいろな名所や建物などが、世界遺産として登録されているのです。

(「小学生のための世界自然遺産プロジェクト ユネスコキッズ」<http://www.unesco-kids.com/pc/isan/>による。)

第1時

- 1 学習の見通しをもち、「世界遺産」に関する資料を読む。
- 2 疑問点や関心をもったことを基にして、更に知りたいこと、調べたいこと（課題）を決める。



富士山は文化遺産に決まったんだよね。「文化遺産の六つの基準とは何か」という課題はどうだろう。

疑問点や関心をもったことを「課題」にするためには、その課題を追求することでテーマへの理解を深めたり視野を広げたりできるか、解決の見通しがもてそうかななどを検討することが大切です。次のようなキーワードを使って見直ししてみるとよいですね。



教師

この課題だとすぐに答えが出て追求しがいが無いな。富士山のどのようところが認められて世界文化遺産になったのだろう。随分時間もかかったみたいだから、決まるまでの流れも調べてみようかな。

考えた課題 「文化遺産の六つの基準とは何か」

〈よりよい課題を設定する際のキーワード例〉

- 「なぜ～」（理由や根拠を掘り下げる）
- 「どのように～」（状況や経緯、様子を詳しく調べる）
- 「どうすれば～」（課題解決のための手段や方法を詳しく調べる）
- 「どちらが～」（共通点や相違点を明らかにして比較する）

決定した課題

「富士山はどのようにして世界文化遺産に認定されたのだろうか」



課題「富士山はどのようにして世界文化遺産に認定されたのだろうか」

インターネット で検索する	学校図書館で本 などの資料を読 む	地域の図書館で 本や資料を読む
.....	調べる方法	メールや電話で 関係者に問い合 わせる
.....		書店で関連する 本や雑誌を探す

③ 課題について調べる方法を、左のような表を使って整理する。(中央のマスに「調べる方法」と書き、周囲の八つのマスに具体的な解決の方法を書き込んでいく。)

④ ③で挙げた方法から、実際に調べる方法を選び、具体的な調べ方の見通しをメモする。

「インターネットで検索する」見通しの例

- ① 「富士山」, 「世界遺産」, 「富士山」, 「文化遺産」などのキーワードで検索する。
- ② 表示された複数のサイトから課題に関連するものを選んで読む。
- ③ キーワードを付け加えたり変えたりして更に検索する。
- ④ 調べた情報を整理して、必要な事柄をまとめる。

「学校図書館で本などの資料を読む」見通しの例

- ① 百科事典で「富士山」, 「世界遺産」などの項目を調べる。
- ② 日本十進分類法を基に、「富士山」, 「世界遺産」などがどの分類に当てはまるか考え、本を探す。
- ③ 新聞や雑誌などの資料から、課題に関連する記事を探す。
- ④ 調べた情報を整理して、必要な事柄をまとめる。

⑤ それぞれが考えた調べ方の見通しについてグループごとに意見を交換し、よりよい方法で情報を集める。



サイトにもいろいろあるから、公式のサイトから調べるとよいのではないかな。例えば、県や市などが作っているサイトはないかな。

インターネットで調べる際には、そのホームページを誰が作っているかななどにも着目して、信頼できる情報かどうか注意する必要があります。また、関連する情報を集める手段として、探してきた本に紹介されている参考文献や、ホームページのリンクに当たってみるのもよいですね。



⑥ 検討した方法で、実際に情報を集める。

第4時

⑦ 集めた情報を基に、出典を明らかにして「プラス1情報」を付箋に書き、貼り付けていく。(「プラス1情報」の例) 参照)

⑧ 「プラス1情報」を読み合い、調べ方や手に入れた情報について気付いたことを話し合う。

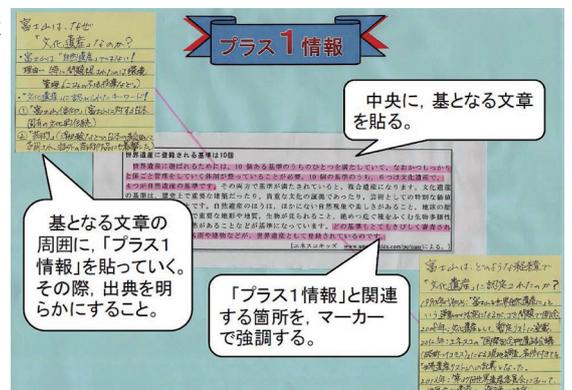
調べる方法をしっかり検討して取り組んだから、興味深い情報がたくさん集まったね！これを読むと世界遺産のことが詳しく分かって面白いな。
今回、検討した方法は、別の課題でも使えそうだね。



探した本の参考文献に着目することで、関連する情報が集めやすくなるのが分かりました。



〔「プラス1情報」の例〕



本授業アイデア例 活用のポイント

- 設定した課題を調べる際には、「何で、どのように調べるか」についての見通しをもち、具体的な手順や方法について検討し合うとよい。
- 教科書の説明的な文章や新聞の記事などを教材とすることも考えられる。
- よりよい課題の設定の仕方や適切に情報を収集するための方法は、他教科等の学習とも関連を図って指導することが有効である。